

ひたちなか市男女共同参画啓発紙

第41号

2026.9

編集／発行

ハーモニーひたちなか
ひたちなか市多文化共生課

かがやく

ハーモニーひたちなか

男女共同参画の 視点から考える防災→防災 第3弾



市政ふれあい講座で体験

プライバシーを守る段ボールベッドや簡易トイレなど、組立てから体験しました。

(2面に関連記事⇒)

ハーモニーひたちなか研修会

～市生活安全課による市政ふれあい講座～

令和8年7月9日



今回の防災講話開催は、私たちハーモニーひたちながが3年越しで取り組んできたテーマ「防災を男女共同参画の視点から考える」に沿った事業の一つでした。

講話では、避難所における女性の性被害防止として、市ではポスターを防災倉庫に常備していると分かりました。それに対し参加者からそれぞれの想いや、より踏み込んだ意見が出されました。

また、東日本大震災発生時に指定避難所68か所の運営に従事した市職員は、27日間で延べ1,866人でした。参加者からは、従事者数の男女比を均等にするすることで、避難所の女性たちの要望に寄り添うことができるのではないか、という声もありました。

ハーモニーひたちなかも、これまで皆様に対して様々なアンケートを行ってきました。その結果を市に届け、より安心安全なまちづくりに貢献できることを目指しています。

防災は他人事ではなく自分事、防災情報の受け取り方や、自分の住む地域の特性を知っておくことが災害時に役に立つこと、自助・共助があって公助が加わると災害への備えが充実すると感じた時間でした。

**段ボールベッドと簡易トイレは
消費生活 + ハーモニー展において展示します！**

避難所での性被害・性暴力にご注意を！

災害時は性被害や暴力が増加する可能性があります。
子どもから大人まで、女性も男性も、年齢や性別によらず、だれでも被害にあうことがあります。みんなが安心して過ごせる避難所にしましょう。

運営面をチェック

- ✓ 女性や子供を性被害から守るため、不審者の出入りに注意しましょう
- ✓ 女性用トイレや更衣室、仮設風呂に防犯ブザーを設置します
- ✓ トイレの照明は明るくします
- ✓ 女性用の下着や生理用品等の配布は女性が担当します

注意点

- 夜間や人気のない場所では、1人での行動は避けましょう
- 被害を受けたら相談します
- 周りの人が見かけた場合も相談します

《相談窓口》

- 性暴力被害者サポートネットワーク茨城 #8891
- 茨城県警察本部性犯罪被害相談「勇気の電話」 #8103
- 女性相談センター 029-221-4166

▲ 避難所の性被害防止ポスター

一人で抱え込まず、いつでも相談してください。

女性相談センター TEL 029-221-4166



令和8年度ハーモニーひたちなか総会開催

令和8年5月15日

新緑の風薫る中、ふぁみりこらぼにて令和8年度ハーモニーひたちなか総会が開催され、全ての議題が無事承認されました。団体数減少という課題に直面する中、「できることからやっ払いこう」という前向きな方針のもと、今年度もテーマは「防災」に決定しました。

研修会 テーマ：多文化共生社会の防災・減災 ～外国人とともに作る安心・安全な地域づくり～

ひたちなか市には令和8年7月末現在、2,987人の外国人が住んでいます。

研修会では、日本人と外国人と一緒に街歩きを楽しみながらの防災マップ作りや、一緒に体を動かしながら楽しく防災を学ぶ防災運動会の実践報告を聞きました。

同じ地域に暮らす外国人のことを知ることが防災の面でも大切であり、一緒に参加できる様々な取り組みが必要であると強く感じました。



講師

仙波 美哉子

地域日本語教育コーディネーター、ひたちなか市国際交流協会副会長、日本語教室ルン代表 など

第1回 男女共同参画講座

心とカラダが整う姿勢と歩き方レッスン ～なりたい自分になるために～

令和8年5月29日

講師のご指導のもと、参加者はお腹や脚の筋力を意識した実践的な歩き方レッスンに取り組んだほか、立ち姿を変えるだけでどれほど見た目が美しく変化するかを体感しました。また、歩き方が変われば代謝や筋力が上り、日常生活の中で気持ちも軽やかになることで、歩くたびに体と心を整えることができたと学びました。

参加者からは「先生の動きすべてが美しく、とても楽しい時間となった」、「すぐ実践できるので今日から頑張りたい」との声が寄せられ、年齢に関わらずなりたい自分になるための有意義な講座となりました。



講師 鈴木 律子

One-step walk 主宰
ウォーキング講師歴17年。
県内各地で「姿勢改善・美しく快適な歩き方へと導くレッスン」を開催。

第2・3回 男女共同参画講座 ～学童クラブにおける若年層啓発～

堀口小学校

令和8年7月22日・8月25日



CAPいばらきを講師に迎え、暴力防止のためのワークショップを行いました。自分を大切にする気持ちを育て、子どもが暴力から自分を守るために何ができるかをみんなで考えました。

外野小学校

令和8年7月27日



おやこ劇場ゆめひろばと共に、男女共同参画の視点から考える防災について講座や工作を行いました。誰もが安心して避難することができるよう、災害に備える大切さを学びました。

第4回 男女共同参画講座を12月2日実施予定です。詳細は11月10日の市報でお知らせします。

ひたちなか市

第5次男女共同参画計画



本市では、男女共同参画社会の実現に向け、様々な施策を推進しております。

今年度、ハーモニーひたちなか会長など男女共同参画審議会委員の意見をいただき、計画期間を5年間とした「ひたちなか市第5次男女共同参画計画」を策定しました。

今回の計画は、新たに「生活困窮相談に関する庁内の連携強化」や「外国人住民への相談・支援体制の充実」等の事業が追加されました。

このほか、計画の詳細や計画に係る様々な市の取組みを市ホームページにおいて紹介しておりますので、是非ご覧ください。

計画の詳細
はこちら



概要

基本目標Ⅰ

男女が共に仕事と生活の調和が図られ
安心して幸せに暮らせる社会環境の整備

基本目標Ⅱ

様々な分野における男女共同参画の推進

基本目標Ⅲ

一人ひとりの人権と個性が尊重される
社会基盤の整備

ハーモニーひたちなかについて

ひとりひとりが自分らしく輝く男女共同参画社会の実現のため、市内の団体と市が協力し合って、研修・情報交換・イベントなどを企画実施している組織です。

皆様のご参加をお待ちしております。

詳しくはこちら ▶



今後の男女共同参画イベント

■ハーモニーひたちなかフォーラム **要申込み** 日時：11月29日(日) 13:30～15:30
場所：ワークプラザ勝田 大会議室

テーマ “上手に頼る” 生き方のコツ ～ **受援力** でより自分らしく、よりラクに～

毎日頑張る幅広い世代の方へ、一人で抱え込まず「より自分らしく、よりラクに」生きていくためのヒントを、ワークショップとともにお伝えします。



講師 **吉田 穂波** (産婦人科医師、医学博士、公衆衛生学修士)

聖路加国際病院にて産婦人科研修後、名古屋大学大学院にて医学博士号取得。海外での臨床経験を経てハーバード公衆衛生大学院留学。2019年より神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科教授。4女2男の母。

申込みはこちら



同時開催 男女共同参画キャッチフレーズ表彰式及び男女共同参画推進事業所表彰式

■令和8年度消費生活 + ハーモニー展

期間：11月7日(土)～8日(日)
場所：ひたちなか市総合体育館

産業交流フェア
同時開催イベント

■DV防止月間パネル展示

期間：11月15日(日)～20日(金)
場所：市役所 市民ホール

多文化共生課の新設について

令和8年4月1日から、女性生活課を廃止し、多文化共生課を新設いたしました。これまで女性生活課で行っていた男女共同参画推進事務(男女共同参画センターを含む)及び消費生活事務(消費生活センターを含む)に加え、これまで市民活動課の一部が行っていた国際交流事務を拡充

し、外国人に係る相談・支援体制の充実を図ります。

多文化共生課では、全ての市民が社会の対等な構成員として、自らの意志によって働き方や生き方を柔軟に選択し、仕事も生活も充実できるよう、市民や事業者と連携を図り、より一層男女共同参画に関する施策を推進して参ります。

女性生活課

- 男女共同参画推進事務
- 消費生活事務

市民活動課の一部

- 国際交流に関する事務

令和8年度から

多文化共生課

- 男女共同参画推進事務
- 多文化共生、国際交流に関する事務
- 消費生活事務



(M・I)

男性の育児取得率向上には、育休を取りやすくするための職場環境を整える努力が、職場や社会でなされることが必要だと思っています。

3年前のハーモニー展において「パパの育休」に関するアンケートを実施したところ、「制度はできても取りやすい環境ではない」などのコメントが寄せられました。

男女共同参画を進めていく上で注目すべきは、男性の育児休暇取得率が年々上がっていることです。民間事業所の男性育児取得率が令和6年度は40.5%に上昇しました。

編集後記

「かがやく」のバックナンバーはこちら



環境にやさしい植物油インキ、再生紙を使用しています。